



悩みごとや困りごとはありませんか？



鹿児島地方法務局／鹿児島県人権擁護委員連合会

LINEで相談!

アカウント名: SNS人権相談
検索ID: @sns|inkensoudan

その取組の一環として、身近な大人に相談で

「子どもの人権を守る」を啓発活動の強調事項の一つとして掲げて、積極的に様々な啓発活動を行うとともに、人権相談・人権啓発活動に取り組んでいます。

- ◀LINE相談の啓発カード
- ▼SOSミニレターの用紙

はじめや体罰、児童虐待、児童買春や児童ポルノ等の被害など、子どもが被害者となる事案が後を絶ちません。子どもは一人の人間として最大限に尊重され、守られなければならない。

法務省の人権擁護機関である鹿児島地方法務局及び鹿児島県人権擁護委員連合会では、子どもたちの人権を守るため、「子どもの人権を守る」を啓発活動の強調事項の一つとして掲げて、積極的に様々な啓発活動を行うとともに、人権相談・人権啓発活動に取り組んでいます。

きずにいる子どもたちの悩みごとを的確に把握し、学校及び関係機関と連携を図りながら、様々な人権問題の早期発見及び解決に当たることなどを目的として、便箋と料金受取人私の封筒が一体となった「子どもの人権SOSミニレター」を配布しています。また、子どもの人権問題に関する専用相談ダイヤル「子どもの人権110番（フリーダイヤル）」を設置し、平日の午

前8時30分から午後5時15分まで、法務局職員又は人権擁護委員が対応しています。さらに、法務省ホームページ上に「インターネット人権相談受付窓口（SOSメール）」を開設し、インターネットによる人権相談に対応しています。このほか、ある「LINEじんけん相談」を開設して人権相談にに応じています。面談や電話で相談することができます。

難しいなど、これまで相談できなかった方は、ぜひこれらの相談窓口にご相談ください。

インターネットやSNSは、誰もが情報を送受信できる気軽で便利なメディアとして、私たちの生活に欠かせないものとなっています。私たちは携帯電話会社と連携した「スマホ・ネット安全教室」を県内の中学校で実施しています。正しい利用方法や危険性について理解してもらい、トラブルへの適切な対処方法を周知することにより、生徒のインターネット・リテラシーの向上とプライバシー保護に取り組んでいます。

子どもの人権 SOS ミニレター

悩んでいるあなたへ。その悩み、私たちに相談してみませんか？

相談内容の秘密は守ります。

「子どもの人権SOSミニレター」について

この用紙に相談したいことを書いて送ってください。返事は不要です。あなたにだけ送りたいことなどについて書かれた手紙も、人権擁護委員が読んで、手紙や電話での返事をします。相談内容や個人情報は守りますので、安心して相談してください。お返事が遅くなるときも相談してください。

電話で相談

子どもの人権 110番

相談時間：月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15

メールで相談

法務省のホームページでも相談を受け付けています。

LINEで相談

LINEでも相談を受け付けています。

LINEじんけん相談

LINEで相談

LINEで相談

子どもの人権 110番

相談時間：月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15

人権の大切さ

鹿児島県人権擁護委員連合会 子ども委員長 中島 和人



人権教室の様子



ワークショップの様子

鹿児島県の小・中学校では、人権の大切さを学んでもらうために、人権教室を法務局と連携して実施しています。

人権教室は、人権に関するDVDを見て、感想を発表したり、意見を述べたりする形で行われます。

私は、自分が子どもたちに伝えたいメッセージも話します。

低学年には、友達と仲良くできる三つの言葉を覚えてもらいます。「ありがとう」「ごめんささい」「ごうしたの」です。これは、あくまでも私の考えている言葉なので、子どもたちからは、色々な素敵な言葉が出てきます。

中学年には、はじめとけんかのちがいがいじめを見ているだけの行動がなぜいけないのかを考えさせてあげたいです。

次は、私の担当した中学校の子どもが書いてくれた感想です。

でももらいます。そして、いじめは、いじめる側がやめないかぎり続くから、いじめられる側は大変なのだといいことを分かってもらいます。

高学年には、いじめられる側は、深い傷を負っているけれども忘れられないが、いじめる側は、忘れてしまうことを、小学校六年生の時に自分が体験したことをもとに話します。

中学一年生には、友達をたくさん作ることで、悩みも話せるような友達を作ってほしいこと。二年生には、自分を客観的に見る力をつけて欲しいこと。三年生には、夢を持つて前向きに生きて欲しいというメッセージを伝えます。

今日の人権教室を通して、人権の大切さについてもう一度確認しました。私が一番心に残っているのは、野原詩です。かたつむりにも夢があることに驚いたのもですが、今、将来についている考え、悩んでいる自分に、夢の大切さや偉大さを今までよりも感じさせてくれました。また、DVDでは、いじめの悲惨さを知り、それによってどれだけ被害者が傷つたかを中島先生の実体験と共に感じました。いじめた側にもいつか罰が返ってくるのもしっかりと理解したので、絶対にいじめをしないし、されないように自分を強くもっていきたくです。

